

令和6年度 学校評価

自己評価部門

重点目標

年度報告

令和7年3月22日

鶴見大学附属中学校・高等学校

はじめに

本校は2024年に創立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一步を踏み出しました。この節目を機に、「温故知新」の精神のもと、初代校長・中根環堂先生の言葉であり、現在も本校の根幹をなす理念である「随所に主となる」（どのような場所でも自分らしく輝くことができる）力を育む学校を目指し、日々の教育実践に取り組んでいます。

具体的には、創立100周年を契機に策定した第2次中期事業計画『Crane翼プロジェクトⅡ』において、4つの施策を体系的に整備し、年次計画工程表に基づき法人とも連携しながら、着実に実行してまいります。

目指すべき将来像

建学の精神を基盤に、グローバル化した未来を生きる力を育て、社会から高く評価され、保護者から深く信頼される卓越した中学校・高等学校

教育ビジョン

自立の精神と心豊かな知性を育み 国際社会に貢献できる人間を育てる

教育目標宣言

「学びの心で世界を変える。」

育みたい力 資質・能力

「随所に主となる」ことができる資質・能力

先の見えない世の中だからこそ、幸せに生きていくために「自分の選んだ場所・与えられた場所で、自分らしく輝く」ことができる力の育成を目指します。

■Crane翼プロジェクトⅡ■

本校は、創立100周年を機に第2次中期事業計画『Crane翼プロジェクトⅡ』を策定しました。本計画では、以下の4つの施策を体系的に整備し、年次計画工程表に基づき、着実に実行していきます。

- 1 「主体的に学ぶ」生徒の育成
- 2 「主体的に学ぶ」環境を生み出すための組織人事
- 3 ファンを作るための広報・募集活動
- 4 10年後も安定した経営をおこなうためのマネジメント

組織運営理念

改革を推進し、さらにその先の未来へ向かって持続的に進化し続けるためには、個々の教職員の能力向上と強固な組織づくりが不可欠です。採用から研修制度に至るまで、人事・教育計画を再構築し、教育職員・事務職員に加え、多様な分野のエキスパートと協働することで、子どもたちを見守り支える「チーム力」を強化していきます。

人材育成理念

変化の激しいVUCAの時代において、教育手法も常に進化を続けています。教職員一人ひとりが広い視野を持ち、未来を見据え、主体的に「学びの心」を培い、自己研鑽に努めることが求められます。そのため、本校では内外の研修制度を体系的に再構築し、回数・種類・テーマ・レベルのすべての観点において充実を図ります。

※VUCA…Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の略。目まぐるしく変転する予測困難な状況の意。

目次

はじめに	1
目次	2
令和6年度 目標	3
(1) 長期目標 (2) 分野及び中期目標	3
(3) 令和6年度重点目標 (4) 評価の基準	4
(5) 結果	5
学年	
1st ステージ	5
2nd ステージ	6
3rd ステージ	7
教科	
国語科	8
社会科 (地理・歴史／公民)	8
数学科	9
理科	10
英語科	10
保健体育科	11
芸術科	12
家庭科	12
情報科	13
探究科	14
部署	
生徒指導部	15
学習進路指導部	16
入試広報部	18
教務部	19
事務部	21
管理部門	22
(6) 資料編	24
学校組織図	25
職員名表	26
生徒在籍数表	27
部活動加入者人数	28
授業・部活動・教科教室型校舎・進路に関する生徒のアンケート結果	29
授業参観に関する保護者のアンケート結果	32
卒業生の主な合格先	34

令和6年度 目標

(1) 長期目標（大目標）

自立の精神と心豊かな知性を育み国際社会に貢献できる人間を育てる。

教育目標宣言：「学びの心で世界を変える。」

育みたい力 資質・能力：「随所に主となる」ことができる資質・能力

どのような場所でも自分らしく輝くことができる力を育む。

(2) 分野及び中期目標（中目標）

【1】「主体的に学ぶ」生徒の育成

① 学力向上、キャリア教育の充実～進路目標の達成

② 特別活動（学校行事・部活動）

〔具体的施策例〕

(1) 家庭学習を通して「見通し」を立てる力を育成する

(2) 学習方略を身につけ、学習を自分のものにする

(3) 基礎的な学力・技能を身につけ、生徒の自己効力感を高める

(4) 生徒の「知的好奇心」を刺激し、内発的な学習意欲を高める

(5) 自己理解を深め、生徒の自己実現に向けての学習意欲を引き出す

(6) 学校行事や部活動を通じて、主体的に学ぶ生徒を育成する施策

(7) 学校行事や部活動を通じて、主体的に学ぶ生徒を育成する環境づくり

【2】「主体的に学ぶ」環境を生み出すための組織人事

① 学校組織のマネジメント力の強化

② 働き方改革の具体化

③ チーム鶴大附属の体制構築

④ いじめの重大事態、虐待事案等への対応

⑤ 外部機関との連携

〔具体的施策例〕

(1) エンゲージメントが高まる職場づくり

(2) 校務運営に関する諸規程の整備、及び周知・共有により業務の効率化を図る

(3) 生徒指導・保護者対応に関する校内研修会の定期的開催

(4) 特別支援教育に関する校内研修会の定期的開催

(5) 「学校における働き方改革」を含む組織改革

【3】ファンを作るための広報・募集活動

① 中学入試の展望

② 高校入試の展望

〔具体的施策例〕

(1) Web出願担当業者の変更（ミライコンパスの導入）に伴う業務再構築

(2) 受験生・保護者の来校機会を増やす取り組み

(3) ホームページ及びSNS活用を含め、広報活動のさらなる充実

(4) 教育活動の再定義と発信の強化

(5) 未来への期待感が持てる教育の実践と発信

(6) 授業料無償化に伴う公立志向の高まりに対抗した発信力強化

【4】10年後も安定した経営をおこなうためのマネジメント

① コンプライアンスへの取り組み

② 令和の新時代の学びを支える環境整備

③ 新時代の学びを支える安全・衛生体制等の計画的な整備

④ 危機管理等への対応

⑤ 計画的な教職員の採用計画の立案と実施

⑥ 財務の改善

〔具体的施策例〕

(1) 施設、設備の整備計画の立案

(2) 人材の確保にむけての施策検討

(3) 事務部門の業務効率化

(4) 財務の健全化に向けた取り組み

(3) 令和6年度重点目標

① ステージの重点目標

重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。
------	-------------------------

② 教科の重点目標

重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。
------	----------------------------

③ 各部署の重点目標

生徒指導部

重点目標	ルールやマナーを守らせ、よりよい学校生活を送れるように指導・支援する。
------	-------------------------------------

学習進路指導部

重点目標	教科エリア型校舎の特長を生かし、「学びから入る進路指導」を実践する。
------	------------------------------------

入試広報部

重点目標	中学入試・高校入試ともに募集定員を確保する。
------	------------------------

教務部

重点目標	新しい生活様式を踏まえ、教科エリア型校舎の新機能を最大限に活用し、教育の更なる充実を図る。
------	---

事務部

重点目標	業務の基本を再点検・確認し思い込み等によるミスを防止し、対内外より信頼される事務部となるよう努める。
------	--

管理部門

重点目標	施策の体系を新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理も含めて再構築し、関係部署と連携を図りながら、計画的かつ確実に実行できるよう努める。
------	--

(4) 評価の基準

評価	評価の内容
5	十分な達成度である。
4	ある程度満足のいく達成度である。
3	概ねの達成度である。
2	不満の残る達成度である。
1	ほとんど達成されていない。

(5) 令和6年度重点目標

① 各ステージの重点目標

1st ステージ

1) 結果

		評価
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。	3
評価項目①	Gyro手帳を積極的に活用し、基本的生活・学習習慣を定着させる。	3
評価項目②	中学生の自覚を持って、自主自立した行動ができるようにする。	3
評価項目③	ステージ目標「えいき」を大切に、相互理解の観点を持って充実したコミュニケーションを図れるようにする。	3
評価項目④	課外活動や集団行動に前向きに取り組み、目標を持って学校生活を過ごす。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学1年生は、少しずつではあるが中学生としての自覚ができて、クラスによって差はあるが、自分たちで考えて行動する場面が見られた。その反面、コミュニケーション能力の不足から自分の気持ちや考えが相手に上手く伝えることができないことからトラブルになるケースもあり、教員の力を借りながら問題解決する場面も見られた。中学2年生においては、生活に落ち着きが見られ精神的にも成長が感じられた。球技大会や遠足などを通して、先輩としての自覚を持って行動する姿が見られた。少しずつではあるが自主自立した行動がとれるようになってきた。2学年部保健室登校の生徒を中心に面談したことや保健室の先生方のご協力により3学期に入り改善が見られ来年度に期待できそうである。
評価項目①	Gyro手帳に関しては、しっかりと書いて上手に活用できている生徒と、提出できないもしくはしない生徒と二分化してきている。上手に活用し学習計画ができていない生徒は効果が出てきていると思われる。担任は、提出できていない生徒への指導に苦慮している。
評価項目②	学年やクラスによっても差はあるが、全般的には中学生としての自覚を持って行動できていた。全体的には教員のアドバイスを素直に受け止め、楽しく学校生活を送る生徒が多くいる中で、勉強面や人間関係に不安をかかえる生徒も増えてきた。指示を待って行動する生徒が多く、少しずつではあるが自主的に動く姿も見られた。「自主自立した行動」に関しては様々な活動や経験によって育まれると考えるので課題が多い。
評価項目③	クラスで参加する球技大会、体育祭や合唱祭を通して男女協力して1つの行事に向かって一生懸命に頑張っている姿が見られた。笑顔で学校生活を送っている生徒が多いなか、一方では不安や悩み事を抱えながら学校生活を送っている生徒もいる。保健室やカウンセラー、親との連絡や共有する事で対象する場面が多々あった。
評価項目④	部活動には加入しているが毎日しっかりと活動に参加できていない生徒が増えているように感じる。勉強や宿題と部活動との両立が課題ともいえる。今年度は中学1年生で理科や社会での自宅学習期間や長期休みを利用して実験教室や見学会などを企画した。色々な場面で前向きに取り組む姿が見られた。

2nd ステージ

1) 結果

		評価
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。	3.5
評価項目①	常に自己を見つめ、自分と向き合い自己理解を深める。	4
評価項目②	何事にも目標を掲げ、計画を立て、それを強い熱意で実行する自立心を持つ。	3
評価項目③	身の回りの整理整頓は頭の整理整頓、時間の余裕は心の余裕とし実践する。	3
評価項目④	常に素直な気持ちで、人の話をしっかり目で聴き、自己の成長に繋げる。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学と高校という2つの課程にまたがり、成長の差がある2ndステージでは、特活（道徳）をステージ全体で行うことは極めて少ない。そのため目標を浸透させ達成を促すには難しいところがある。それでも講堂朝礼の際には、黙念の時間を活かして自己と向き合い、為すべきことを見つめなおすきっかけとなるように働きかけをし、ホームベース朝礼でも活かされるように指導してきた。同時に時間を守り忘れ物をしないよう働きかけながら、自ら歩む力を育てるように指導を継続しているが、まだ道半ばといったところである。ステージ行事の弁論大会では、弁論のさらなるレベルアップが見られ、感心することがたくさんあった。
評価項目①	日頃の朝礼において、しっかりと黙念の時間を取り、自己を見つめる時間とすることができたと思われる。また特活・道徳の時間においても、自己理解を図る時間として使うことができたので、それなりの達成度だと感じている。
評価項目②	担任の指導の下、GYRO手帳を用いた計画の立案や、実施、その振り返りといった一連の流れを、生徒たちは理解をしてはいるようだが、達成度には個人差が大きく、またその達成度の差がほぼ学習習慣とその成果に直結している。
評価項目③	HBの管理に関しては、一部に持ち物を置きっぱなしにする生徒もいたものの、使わない時間にはイスを上げるといったことは、かなり良く守られていた。残念なことに時間を守ることのできない生徒が一定数おり、時間に余裕を持つという指導には十分至ったとは言える状況ではなかった。
評価項目④	3学年と4学年では多少の違いはあったが、状況に応じたスイッチの切り替えは概ねできていたようで、人の話に耳を傾けるべき時には、姿勢を正して話者に向き合う生徒がほとんどであった。聞いた話を自分事としてとらえることが、次の目標となる。

3rd ステージ

1) 結果

		評価
重点目標	自立の精神をもった、人間性豊かな生徒を育てる。	3.5
評価項目①	学習意欲の向上を図り、基礎学力を定着させるとともに探求する力を養い、個に応じた進路実現をサポートする。	4
評価項目②	学校行事、部活動等において上級生としてのリーダーシップを発揮させ、グローバル化していく未来を生きる力を育てる。	4
評価項目③	時間厳守、挨拶、HBの整理整頓等、基本的な生活習慣を確立させ、社会で自立して活動していくために必要な資質を身につけさせる。	3
評価項目④	集団生活の中で規律ある態度を養い、誠実で思いやりのある人間性を育てる。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	大きく変化していくこれからの社会を主体的にたくましく生き抜くために、豊かな心で自ら学び、考え、判断し、問題を解決していく力を身につけられるよう指導してきた。
評価項目①	5 学年部では将来の進路実現に向けて、日々の学習の大切さを再認識させ、授業に真剣に取り組む姿勢を身につけさせた。また様々な進路ガイダンスを実施し、大学入試の現状と課題について指導した。 6 学年部では、多様化する入試方式を各担任が理解し、個々に応じた指導をした。一般受験では生徒一人一人の受験プランに対し、適切な情報の収集・分析に努め、また学年全員で情報を共有した。
評価項目②	学校行事・部活動などを通じて、チームワークの大切さ・共通の目的に向かうことの大切さに気づき、学年に応じて求められる役割を果たす対応力などを身につけさせた。特に 5 学年部では、1 学期の研修旅行において様々なことを学ぶ機会を与えることができた。
評価項目③	学年部スタッフの工夫と積極的な関わりで、時間厳守、挨拶、整理整頓等、当たり前のことを当たり前に行う基本的な生活習慣を身につけさせようとしたが、時間厳守や約束に対する意識が乏しい生徒や、状況に応じた適切な行動がとれない生徒が見受けられた。また、遅刻および欠席が多い生徒が多数いた。
評価項目④	特活・ホームルーム等を中心に学校生活全般において、ルール厳守、相互理解、相手の立場になって物事を考える「思いやりの心」を育てようと指導した。その結果、人間力を身につけ成長できた生徒もいたが、課題の残る生徒も見受けられた。

② 各教科の重点目標

国語科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	4
評価項目①	適切な課題と適時な小テストを通して、知識の定着と自学自習の促進を図る。	4
評価項目②	教科エリア型校舎の特性を生かし、専門性の高い授業を確立させる。	4
評価項目③	授業や課題、ICT情報の共有を推進し、授業展開の充実化を図る。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学・高校ともに、週末ごとに課題を課し、自学自習の習慣の確立、自律の精神の涵養を図った。また、生徒の学力に相応したテキストを課した。提出状況が悪い生徒に対しては各教員が地道に指導し、提出を促した。
評価項目①	中学、高校それぞれに本校の生徒の進捗を考慮したオリジナル教材の「のぞみ」（中学全員）、「パワーアップテキスト」（高校1・2年生）を配布し、それを定期的にチェックすることで家庭学習を定着させる一助とした。また、中学では漢字、高校では、漢字、単語、文法の小テストを適宜実施し、基礎力の定着を図った。
評価項目②	全教科教室に教科オリジナルのポスター（ヨクデル漢検）を掲示し、興味関心を深め、知識の涵養を図った。
評価項目③	授業におけるプリント教材やプロジェクター教材を共有し、授業・教科業務の効率化を図ることができた。新課程共通テストに向けての指導内容の更なる検討を深めていきたい。

社会科（地理・歴史／公民）

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	地理・歴史・公民の学習を通じて、基礎的な知識や技術の定着を図るとともに社会的事象への関心を喚起する。	4
評価項目②	生徒が主体的対話的に深く学ぶことができる授業を展開し、社会的事象に関して、多面的・多角的に課題を把握させ、解決に向けた考察させる。	3
評価項目③	ICT教育の推進を引き続き図ると共に、教科研究の充実と情報の共有化、積極的な情報発信を図る。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	生徒用タブレットの活用、新しいプロジェクターの効果的な利用を図り、各教員が視聴覚に訴える方式を取り入れつつ授業に取り組んでいる。また、メディアの充実にも力を入れており、社会科の各教科における共通テストの概観を生徒が手に取り、見ることができるようにする等の環境を整えた。今後も、より興味・関心をそそる環境を整備していきたい。
評価項目①	各教員が各種研修会に出向き、研鑽をつむなど、授業力の向上に努めている。また、社会科では、全教員がプロジェクターの活用を通じて、生徒へ学習内容の事物・人物・できごとなどを視覚的に印象付け、授業への強い関心を引き出すことができた。
評価項目②	各科目や単元に応じて、生徒の主体的・対話的で深い学びや協働的な学習を行うことができた。また、他教科の教員と協力して教科横断授業を行う教員も複数名みられた。ロイロノートを活用し、長い期間出席停止になってしまった生徒等に対し課題を提供することも概ねできた。
評価項目③	社会科では各教員が積極的に教材研究に励み、また、科目ごとに授業をリードする教員を定め、授業で用いるパワーポイント教材を共有したり、共通の小テストを行ったりするなど、各クラスで教材等の共有をすることができた。

数学科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	課題や小テストを利用してスパイラル学習を定着させ、知識および表現力を身につける。	4
評価項目②	オンラインを課題提出などに利用し、家庭学習習慣や知識の定着を図る。	3
評価項目③	クラスやコースの違いを踏まえた授業を展開する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	中学においては、週末ごとに宿題を実施して自学自習の習慣を身につけ、自由課題用の問題集を与え、また高校においては、教科書準拠の問題集以外に、課題プリントを与えたり、参考書を紹介して、自主自立の精神を養った。
評価項目①	中学では、週末宿題の確認小テストを毎週実施し、家庭学習意欲の向上を図った。また業者テストの事前学習として課題冊子を与え、定期試験以外の対策方法を指導した。高校では、教科書準拠の問題集や復習プリントを利用し、反復学習を心がけた。
評価項目②	中学では、毎週末や長期休暇前に課題を与え、計算力や数学的基礎知識を身につけさせた。課題の未提出者が多く、確認テストの実施や平常点への反映を実施したが、顕著な成果は見られなかった。 高校では、必要に応じて課題を与えたり、小テストを実施したりするなどした。特に試験前の教科書準拠問題集の課題提出を実施し、学習効果の向上を図った。

評価項目③	1stステージでは進学クラスと難関進学クラスの授業進度は同じにしたが、授業での扱う問題に難易度の差をつけて指導した。特にアドバンスクラスでは、プリント学習を増やし、応用力を養った。高校では、演習問題の量や質でコースにあった指導を行った。また模擬試験で結果を出すことを意識して定期試験の作問を心がけた。
-------	--

理科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	4
評価項目①	教科エリア型校舎の特性を生かし、専門性の高い授業の確立を図る。	4
評価項目②	教材・器具・理科消耗品の充実を図り、観察・実験が滞りなく実施できるようはたらきかける。	3
評価項目③	各実験室の備品等のチェックと、備品台帳の完成を図る。	5

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	教科メディアセンターでは昨年度に増して、生徒と教員の「理科」を通したコミュニケーションの場となっている。実験演示や演習において教科エリア型校舎の特長が生かされた。メディアセンターの利用者は、今年度は高校生が多く、学習相談から進路相談まで幅広く、ホワイトボードを活用するなど充実した対応ができた。
評価項目①	各教員が工夫して専門性の高い授業を実践した。一部教科を越えて教員間の連携を図り、教科としての取り組みができた。高校生を中心に実験室を利用し、実験観察実習ができた。また、中学生では、昨年以上にグループワークが充実できた。係教諭の尽力で横浜薬科大の出張授業も実施できた。生徒には高評価であった。
評価項目②	購入して10年以上経過した顕微鏡の修理にとりかかることができた。修理完成は令和8年度末を予定している。修理業者の担当者が転勤するなど、スムーズに進めることができなかったのが残念であるが、各部署の協力を得て進めることができそうだ。
評価項目③	備品台帳に関して、昨年度と同様、令和6年の夏季休業中にほぼ完成できた。来年度に向けて実験実習の充実をはかりたい。

英語科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	英語コミュニケーション能力・姿勢を習得させるため、4技能を意識した授業の確立を図る。	3
評価項目②	課題や小テストを利用して、知識の定着を図る。オンライン発信を有効に使う。	4
評価項目③	ICT教育やオンライン授業を充実させるため、教材、資料、情報の共有化を図る。また、タブレット(BYOD)の有効活用を研究する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	共通テストの内容を意識しながら、生徒たちに実用的な英語を習得させるように取り組んでいく。4技能を踏まえた受験英語と実用英語の指導が円滑に進みつつある。
評価項目①	ICT教育と4技能（読む、書く、話す、聞く）を取り入れる工夫をさらに向上させた。英語に慣れさせ、実践的な英語力を身につけることを目標に指導している。中学生は、グローバルプログラムに基づき英語②や7限、国際理解の授業がリンクし、主体的に行動できる英語型探究活動の実践に努めてきた。高校生は、プレゼンやライティングの活動を通して発信力を養う機会を増やすようにしている。活動を通して常に受験を意識しながら授業を展開した。
評価項目②	月曜日朝テストに遅刻してくる生徒が増え続けており、中学、高校共に平均10人前後いる。担任の先生と協力して家庭への連絡を徹底していく必要がある。ロイロノートやスタディサプリを用いて発信した課題にも生徒は熱心に取り組んでいる。
評価項目③	教科内で資料や情報の共有を図り、授業のレベルアップに努めた。上位層を引き上げながら、学力下位層が伸びる授業作りを考え、工夫してきた。kahootなどの教育用プラットフォームを活用し、学習効果が見られた。

保健体育科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	課題や小テストを利用して、知識・技能の定着を図る。	3
評価項目②	健康や安全を考え、正しい判断の下、行動の選択ができるようにする。	4
評価項目③	集団的行動や身体表現を通して、コミュニケーション能力を育成する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	集団的活動を通し協調性を養い、まじめに取り組む姿勢がどの学年でも見られた。体育委員やグループリーダーが仲間を率先して活動させ授業の活性化につながっている。さまざまな感染症が流行している中、知識を高め引き続き感染症対策に心がける。
評価項目①	体育では、反復練習の中でチーム内で教え合うなどのグループ学習を通して、また保健では、プリント課題や小テストの実施、定期テストの振り返り授業などで知識や技能の定着を図った。
評価項目②	保健の授業にて、身体づくりや健康問題・応急処置などを学んでいる。けがや事故が起こらないような行動をとることはもちろんのこと、緊急時の対応にも取り組んだ。
評価項目③	実技の練習やゲームの進行、ダンスの作品作りなど、グループ学習によって意欲が高まり自主性や積極性が増した。体育祭は、重要なコミュニケーションの機会となった。

芸術科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	4
評価項目①	ICT機器を活用しながら専門性の高い実技指導を行う。課題や音源資料などをオンライン配信し主体的な学びを促す。	4
評価項目②	各教科の基礎的な能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、表現力と技術力の向上を目指す。	4
評価項目③	音楽、美術、書道、3教科の連携を深め、教科横断的な学びができる授業を展開する。芸術文化を愛好する心を育て、豊かな情操を養う。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	メディアには生徒の制作した作品やレポートを常に展示し、お互いの感性を認め合い芸術への興味関心を引き出すことができた。また、ICT機器を活用しながら授業展開を工夫し、生徒が主体的に学び表現力、技術力を磨けるよう促した。
評価項目①	デジタル教科書や映像資料などのデジタル教材を多用し、専門的な深い学びに繋げることができた。ロイロノートを活用し、あらかじめ音源や制作見本を送ることで、授業で専門的な指導する時間を確保できた。映像資料は生徒の反応も良かった。
評価項目②	音楽では、合唱祭を開催することができた。合唱を通して仲間と歌い合わせることの喜びを感じ、美しいハーモニーを味わうということを体験させることができた。美術では鑑賞の時間をもうけ画家について発表し、生徒間の意見交換もできた。
評価項目③	今年100周年を迎え、光華祭ではどの学年も展示発表できた。音楽では数学とコラボレーションをし、研究授業で発表、成果をあげた。年度末に3教科で連携し、音楽ではアンサンブルの演奏発表、美術と書道では作品発表をし、感性を高めた。

家庭科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.7
評価項目①	オンラインを課題提出に利用したり、小テストを利用したりするなどして、知識の定着を図る。	3
評価項目②	メディアセンターや展示コーナー及び教科教室の充実を図る。	4
評価項目③	実習授業の持ち物をオンラインで配信することで忘れ物をなくす手立てとする。実習を通して、達成感を味わえる指導をし、創意工夫能力や生活力を身につける。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	意欲的に楽しく授業に臨んでいる姿勢を感じられたことは、自律の精神が育つ上において役立っていると思われる。調理実習などは男女混合班のためお互いが教えあいながら仲良く協力して作業を進め、作業の遅い生徒への気遣いが生徒間で上手にできるようになった。
評価項目①	課題については、高校生は100%の提出。中学生は登校していない生徒が若干名いるため100%とはいかなかった。繰り返し教えることに力を入れ、小テストをすることで疑問や結果を理解、把握することができた。
評価項目②	中学生・高校生両方の授業での製作した作品を展示した。また、特活自由研究での1stステージ・2ndステージの3年生の優秀作品を展示するなど、充実させることができた。
評価項目③	高校生は実習で学んだことを基に、家庭で創意工夫して実践する生徒が多くなった。中学生は創意工夫まで到達しなくとも、自分の歴史を振り返り、家族が深い愛情で支えてくれていることが理解でき、手伝いや親子のコミュニケーションが増えてきた。

情報科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	3.3
評価項目①	座学や課題を利用して、知識の定着を図る。	4
評価項目②	情報モラル・セキュリティなどの重要性を理解させ、ICT教育の充実を図る。	3
評価項目③	ALな課題や、成果物の発表を通して探究心の向上をはかる。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	教科情報にあまり興味はない生徒は、「難しいけれど習得しないといけない」という認識が広くあるようで、意欲的に取り組んでいる。ただ、ネットに接続できる環境は誘惑も多く、脱線する生徒も見られる。これを生徒同士で注意し自律へとつなげている。
評価項目①	実技教科のため、最低限提出を求める課題と、+αの加点として扱う課題として運用した。座学とともに課題をこなして提出することで各期末のペーパーテストでも結果が反映されるようになった。
評価項目②	情報Ⅰを履修する高校2年生になるまでに特別講義等で情報モラルやセキュリティについて聞いたことはあるものの、「今まで大丈夫だったから。」や世間の情報技術の進歩によってICTとの関わり方が変化し、理解や認識のずれが発生することがある。
評価項目③	ALや、他教科ともつながった課題を設定するものの、見本を見せると見本という型にはめたものであったり、検索をすると検索結果上位に出くるようなものをもじったようなもので成果物が出てくるため、新しい発想ができる仕掛けを模索している。

探究科

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を発展させ、自律の精神を養う。	4
評価項目①	探究することの意義を理解する。また、授業に思考ツール・対話的手法を積極的に取り入れ、探究活動の6つのステップ「興味関心⇒課題設定⇒情報収集⇒整理分析⇒まとめ表現⇒振り返り」の方法と技術を定着させる。	4
評価項目②	実社会や世界で起きている問題に目を向ける機会をつくり、生徒の中に社会参画の意識を醸造し、今後の地域連携や主体的な進路決定のベースをつくる。	4
評価項目③	図書館、情報科、学年など他部署と積極的に連携し、学校の学習環境の利用を促進するとともに、生徒が持っている知識を活用できる多様な場面を創出する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	探究科はラーニングコモンズである図書館を教育活動の中心とした。主体的・対話的で深い学びを目的として、司書・司書教諭との連携のもと、視聴覚室、図書館内で活発なグループワークを行ったり、情報収集を行ったりと継続的に活用した。対話学習の際には、図書館内の学習スペースの可動式机を一次移動し、広い空間として活用するなど、柔軟に学習環境をデザインさせていただいた。結果、生徒の思考力や自律した行動を遮らない、コミュニケーションをベースに広がる本質的な学び、人と繋がることで得られる成果（自己理解・他者理解・興味関心の発見・奉仕の心・学習の動機づけ）に繋がった。年間を通して本校の学習空間を最大限に活用し、主体的で自律的な学習を促すことができた。
評価項目①	「探究基礎」では、探究の技術と方法の理論を1学期に学び、2学期に対話促進ツール×オリジナル教材に取り組む等、探究のプロセスを一つ一つ丁寧に取り組むことができた。3学期は、「探究基礎」・「探究」とともに個人探究・グループ探究を行う中で、一連の学びを実践できた。本を借りる生徒が増えたのは隠れた大きな成果だった。
評価項目②	「探究基礎」では、「世界を知るワーク」、「えんたくんで地域課題を考える」等のオリジナル教材を通して、実社会や世界で起きている問題に目を向ける機会をつくった。「探究基礎」・「探究」では、「学内職業インタビュー（司書教諭＋養護教諭＋事務職員＋教科教員を含む）」等を通して、社会人への意見の聞き方などを学ぶだけでなく、大人の職業観に触れる中で、ステークホルダーと社会参画への意識を醸造できた。
評価項目③	図書館連携で図書館の使用方法（日本十進分類法・ラベルの読み方・書籍検索の方法など）を学んだこと、探究活動による情報収集の機会が作れたことで、学校の学習環境の利用・自走学習を促進できた。学内職業インタビューでは、教職員で協力できた。

③ 各部署の重点目標

生徒指導部

1) 結果

		評価
重点目標	ルールやマナーを守らせ、よりよい学校生活を送れるように指導・支援する。	4.3
評価項目①	「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止教育を強力に展開する。特にSNSに絡むいじめが多くなっているが、SNSの利用の仕方なども講演会などで注意喚起していく。	5
評価項目②	校内外においてきちんとした制服の着こなしをさせる。	4
評価項目③	校内での携帯電話の使用は禁止しているが、校外においても「歩きスマホ」は厳禁であることを徹底させる。	4
評価項目④	インターネットにおける正しい利用ができるように指導・支援する。	4
評価項目⑤	生徒会や委員会の自発的・自主的活動を支援する。	5
評価項目⑥	校内の清掃や整美を徹底させる。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	道徳やHRなどを通じてルールを守る大切さを生徒たちに伝えているが、全般的に生徒たちは校則をよく守ってくれている。その一方で、スマホ、タブレットの不適切な使用で懲戒指導を受けた生徒も多くいた。また歩きスマホや道一杯に広がって歩くなど近隣から注意を受けることもあり、今後、より一層マナー教育を充実させたい。
評価項目①	定期的に「いじめ防止対策会議」を開き、各学年の“いじめ案件”を委員で共有した。“いじめ”の定義もかわり、小さなことでも“いじめ”と認識される事案は、各学年で迅速かつ丁寧に対処し、それを指導部会議で報告し、そこで再度検討した。
評価項目②	道徳の時間などを使って“校内外でのきちんとした身だしなみ”について生徒たちに理解を求め、大部分の生徒はよく守っていた。一部の生徒がスカート丈が短かったり、第一ボタンを開けるなど切符指導を受ける生徒もいたが、「生活反省向上週間」や「彼岸会週間」などを通じて注意を呼びかけた。
評価項目③	校内での携帯電話の使用で指導される生徒の数は多少減少したが、これは現在タブレットを全校生徒が使用するようになり、そこで今まで携帯電話で行っていたラインのチェックなどを行っているからだと思われるので、今後注意していきたい。
評価項目④	SNSに関する機能は多岐にわたりその指導もますます困難になってきている。SNSの利用は大変有効で今後も上手に関わっていかなければならないが、その一方でそれにからんだ事案も多数ある。本校でもSNS上のトラブルが数件発生しているので、道徳等を通じて使用上の注意を呼びかけた。
評価項目⑤	今年度も学校行事では生徒たちが中心になって活動する場面が増えた。人気テレビ番組である「学校かくれんぼ」で本校生徒が参加することになり、大いに盛り上がった。光華祭では100周年記念で3日間の開催となったが、生徒会を中心にルールをしっかりと決め、クラブ、クラスなど多岐にわたって参加した。特に後夜祭は生徒会が先生方を巻き込んで大変楽しい企画をつくり、生徒たちは大満足であった。
評価項目⑥	生徒たちは毎日の清掃をしっかりと行っている。学期末や学校説明会前の定期的な大掃除でも、生徒たちは一生懸命掃除してくれた。

学習進路指導部

1) 結果

		評価
重点目標	教科エリア型校舎の特長を生かし、「学びから入る進路指導」を実践する。	4.4
評価項目①	【将来を見通した資質・能力の育成】 新しい学習指導要領の主旨を踏まえ、将来計画委員会の方針の下、思考力・判断力・表現力を育てる施策を実行する。特に、「主体的・対話的で深い学び」については、探究科・特活LHR科やその他の各教科、教務部と連携して体系的な整備を推進する。	5
評価項目②	【きめ細やかな学習指導、進路指導】 生徒の進路意識を調査、把握して、生徒一人ひとりが進路意識を高めるよう、教育相談や三者面談の機能のいっそうの充実を図る。また、図書館活性化の取り組みと併せて補習・補講体制のいっそうの充実を図り、きめ細やかな学習指導を行う。学年・学級経営と連携して、Gyro手帳・ファイルを活用したきめ細やかな指導を通じて、生徒の自学自習の学習習慣の定着を図る。	4
評価項目③	【時機に応じた学習進路指導計画の立案・実行】 各学年の段階に応じた学習進路指導計画を立案し、進路意識を啓発する行事・諸活動を通じて、生徒一人ひとりが自己を高める進路目標をもち、積極的な行動をするよう働きかける。	5
評価項目④	【難関大学合格実績の向上】 いわゆる新課程入試を視野に入れ、引き続き、各教科の学習指導を支援する。また、大学受験に向けた学習・生活態度を涵養するとともに、キャリア教育や難関大を目指す生徒を支援するプログラムのいっそうの充実を図る。高校の特別講座については、引き続き活性化を図り、難関大合格を目指す生徒を支援していく。図書館活性化の取り組みと併せて、発展的な学習を支援する体制のいっそうの充実を図る。	4
評価項目⑤	【さまざまな進路希望への対応の充実】 大学進学以外の進路希望分野（看護・医療技術系専門学校進学希望者、その他の分野の専門学校進学希望者および就職希望者）について、適切な情報を提供する機会を設ける。また、海外大学への進学指導について情報提供を行う。このほか、鶴見大学やその他の大学等と連携し、出張講義などの学びの機会拡充を図る。	4
評価項目⑥	【教科指導力、進路指導力の向上】 教科指導力・進路指導力の向上を図る施策をよりいっそう充実させる。校内では、模試分析会その他の研修機会を生かし、各教科・各ステージ・各学年部、校内各部署との連携を図る。また、学習進路指導部の各教員が部内の業務を共有し、円滑な業務の進行を図ることができるよう努める。コロナ禍によりICT教育および大学入試におけるICT活用の状況が大きく変化したことを踏まえて、教員研修委員会やICT教育研究グループとも連携して、校内研修のいっそう充実を図るとともに、必要な情報を生徒に提供する。	4
評価項目⑦	【保護者との協働による学習進路指導の充実】 保護者に近年の入試動向を理解していただく機会を設けるとともに、適宜情報を提供、共有し、協働して生徒を支援する体制を構築する。	5

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	教育政策の動向を踏まえ、学習指導部、進路指導部ともに、各教科・学年部・教員研修委員会、その他の校内各部署と連携して指導内容の充実を図った。 学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」について、本校では「随所に主となる学び」と捉え直し、教科等横断型授業や探究的学習にすべての教科で実施して研究するなど、本校ならではの教育活動展開の強化に努めている。 図書部では、図書館活性化を引き続き目標に掲げ、事務局や鶴見大学図書館とも連携して、放課後学習支援態勢の強化、英語科の洋書多読支援、POPコンテストへの参加などで引き続き成果を上げることができた。 昨年度まで21世紀型教育推進委員会で検討してきた国際教育活動を今年度より学習進路指導部内に位置づけ直し、グローバル教育部として本校独自の国際教育活動「つるふグローバル・カリキュラム」の充実を図っている。 教員研修委員会との連携では、対面型の研修会も復活しつつあり、オンライン型も含め、多くの教職員が参加することができた。その結果、教育改革の動向について教職員の理解と実践が大きく前進している。 各学年部との連携では、Gyro手帳による学習習慣定着への働きかけを継続することができた。また、数年来、チーム「つるふ」による学習指導力、進路指導力の向上に努めてきたが、スタッフとの連携を順調に展開することができた。 高大連携の一環として設置した歯学部コースに今年度は2名の生徒が参加し、本校の理科特講授業や鶴見大学での集中講義を受講した。 ウェブ活用等による生徒・保護者・教職員間の情報共有については引き続き一層の充実を図っていく。タブレットを用いた授業は、来年度に中学1年から高校3年まで揃うことになる。継続して活用方法の研究・検討を行いたい。
評価項目①	【将来を見通した資質・能力の育成】 昨年度より始めた7限の探究型「つるふグローバル」授業は、学年進行で2学年部まで実施した。大本山總持寺・ゲッペルト昭元老師の講演や能登支援プロジェクトとの交流活動を通じての地域学習などを行った。イングリッシュキャンプ・オーストラリア語学研修などと統合して本校独自の国際教育活動として展開することを図っている。
評価項目②	【きめ細やかな学習指導、進路指導】 教員と教育相談支援員・学習支援員・ICT支援員および事務局が分業・協業し、「チーム鶴大附属」としての態勢で学習指導、進路指導に努めた。また、図書館活性化の取り組みと連携して補習・補講体制の充実を継続し、学年・学級経営と連携してGyro手帳・ファイルを活用したきめ細やかな指導を実践することができた。
評価項目③	【時機に応じた学習進路指導計画の立案・実行】 各教科・各学年部との協働により、校内模試を滞りなく進行するとともに、年間指導計画に基づいた見通し・振り返り学習活動や発展的な学習指導の拡充を図ることができた。特に、今年度の重点目標として掲げた教科等横断型授業を各教科において実施し、研究に努めた。また、Gyro手帳による学習習慣定着への働きかけを継続するとともに、高校各学年部の学年・学級経営と連携し、スタディサプリやベネッセのCompassを活用して、生徒の見通し・振り返り活動の充実を図ることができた。
評価項目④	【難関大学合格実績の向上】 少子化が一層の進展するなか、新課程入試元年、大学入試における定員管理の再厳格化、いわゆる年内入試の増加傾向など、大学入試が大きく変容する状況において、部署として常に最新の情報を収集することに努め、教職員・生徒・保護者に適切に情報提供を行うことができた。次年度以降も引き続き本校独自の「随所に主となる学び」を展開するべく、探究学習や教科等横断型授業、図書館活性化の取り組みと連携した発展的な学習を支援する体制作り、講習・講座や模試分析会などの授業改善・向上への取り組み、予備校・塾との連携強化による情報提供、施策立案・実行力の向上に努めていきたい。

評価項目⑤	【さまざまな進路希望への対応の充実】 三松幼稚園・總持寺保育園体験学習、鶴見大学図書館司書体験学習および外部機関でのインターン等を通じて、専門職従事者に求められる資質や素養を育む働きかけを行うことができた。また、7限グローバル・スタディにおいてグローバル教育セミナーを開催し、ターム留学の報告をしてもらうなど、興味・関心・意欲の喚起に努めた。
評価項目⑥	【教科指導力、進路指導力の向上】 B Y O Dによるタブレットを用いた授業が学年進行で5学年部までに広がり、模擬試験をC B Tで実施するなど、学習指導、進路指導の向上に努めている。 1st・2nd ステージでは、Gyroファイルなどによる学習習慣の定着に向けた活動、指名制補習、3rd ステージでは難関大受験指導等の取り組みで、成果を上げることができた。なお、学期末補講・特別補講・指名制補習などの制度において、日々の補習・補講により取り組みやすい環境作りに向けて課題を残している。
評価項目⑦	【保護者との協働による学習進路指導の充実】 I C T活用により情報提供に努め、生徒や保護者との情報共有を図ることができた。

入試広報部

1) 結果

		評価
重点目標	中学入試・高校入試ともに募集定員を確保する。	4.7
評価項目①	将来の6カ年一貫化を見すえ、中学募集の強化を図る。	4
評価項目②	ホームページ・インスタグラム・LINEを充実させる。	5
評価項目③	募集特に学習塾訪問活動の充実、強化を図る。	5
評価項目④	校内外で開催される諸入試イベントの充実、強化を図る。	5
評価項目⑤	情報の有効な発信を図る。	5
評価項目⑥	他の関係部署との十分な連携を図る。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	校内開催の説明会をはじめすべて予定通り開催することができた。中学入試は昨年を上回る受験者数を確保することができた。少子化が進む中、受験者数と入学者数を安定的に確保するには、一層の情報の収集、整理、発信を進めていく必要がある。
評価項目①	6年間でどのように生徒を成長させるかを、受験生や保護者に理解していただくことを意識した学校案内作りをはじめ、中学校説明会や塾対象説明会では本校が実践している教育活動を、どのように説明していくかを考察しながら実施した。また、昨今の受験界で話題になっていることや目新しさを表現し続ける必要がある。
評価項目②	今年度リニューアルしたホームページ及びSNSにて、情報の更新頻度の増加と内容充実につとめた。教育活動や中高入試等に関する最新情報を中心に、受験生・受験生保護者、在校生・保護者への情報も適宜配信することができた。

評価項目③	学習塾への訪問活動は4月当初より開始、啓進塾などの出張説明会に加えて、サピックス・ユリウスなど大手塾主催のオンラインでの企画に数多く参加、特に近隣大手塾からの多くの受験生の獲得につながった。近隣の学習塾には1校につき4～5回の訪問もし、信頼関係の構築をはかった。
評価項目④	夏休み体験イベントは、イベント数を増やし女子児童の参加を増やすことができた。校内開催の説明会は中高ともに予定通り実施できた。中学校説明会では、毎回生徒または卒業生が登壇し、参加者に対して本校の魅力を伝えることができた。パシフィコ開催の相談会では装飾品を一新し、明るいイメージを来場者に伝えることができた。全てにおいて内容面も充実させ、昨年比で参加者増につながった。
評価項目⑤	説明会で配付したり学習塾に持参したりする印刷物を増やし、新しい情報を多く発信することができ、説明会の参加者数や受験者数の増加につながった。
評価項目⑥	募集活動や入試業務全般において、事務部や教務部をはじめとする関係部署と、ほぼ円滑な連携をはかることができた。

教務部

1) 結果

		評価
重点目標	新しい生活様式を踏まえ、教科エリア型校舎の機能を最大限に活用し、教育の更なる充実を図る。	3.9
評価項目①	(統括)常に全体を意識して安心・安全な学校運営が図れるように関係各部署と連携しながら業務を行う。また、学校創立100周年に関わる記念行事を、円滑に運営できるよう、各部署との調整を図る。	4
評価項目②	(運営)年間計画および各行事等を、各部署との調整を図りながら円滑に運営する。また、学校創立100周年に関わる記念行事を盛り立てる。	4
評価項目③	(文書)定期テスト・各種模擬試験等を円滑に実施する。天候・交通の影響による遅延等や不測の事態においても適切に対応できるよう各部署と連携を図る。	3
評価項目④	(統計)学校内の情報を正確に処理し、その把握に努め、各部署との連携を図る。	4
評価項目⑤	(情報管理)今年度から指導要録と通知表に関する新しいプログラムが導入される。それによる業務の移行をスムーズに行い、業務に支障がないようにする。	4
評価項目⑥	(校外研修)体制の変更に伴い、業務の割り振りや内容を整理し、各企画がスムーズに進行するよう調整を図る。	4
評価項目⑦	(修徳)建学の精神をふまえ、日々朝晩の黙念を大切にし、常に自己(仏心・仏性)と向き合い、他者への感謝と思いやりの心を忘れず、何事にも「目標・計画・熱意」をもって、「いまここ」を一所懸命に「一点になり切る」である。	4
評価項目⑧	(文化事業)図書館の環境整備と活性化を図り、蔵書活用を充実させ、生徒が自主的に利用できるような学習環境を提供する。生徒の豊かな感性を育むためにも、100周年にふさわしい芸術鑑賞会の企画実施に努める。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の 総括	部署ごとに連絡を密に取り、工夫できるところは行い、円滑に教務関係の業務を遂行できた。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後2年目にあたる今年度もコロナやインフルエンザが流行した時期もあったが、宿泊行事を含めた学校行事など予定通り実施することができ、コロナ禍前の学校生活に戻ったといえる。次年度もいつ感染症が流行しても対応できるよう、引き続き一層の工夫と業務の見直しを行い、生徒の安心安全を第一に考えた学校運営ができるようにしていきたい。
評価項目①	今年度は7月に行われた講演会をはじめとした学校創立100周年行事を数多く実施したが、その都度各部署や教職員の意見を参考にした上で、工夫を重ね、概ね支障なく業務内容を円滑に遂行でき、生徒にも心に残る行事になったと思われる。内規の点検・見直し作業については予定通り進まなかった面もあるが、発行することができた内規集もある。また、一昨年度に導入した学習成績処理システムは、指導要録及び調査書の発行など、概ね予定通り進んだ。次年度も、部署毎に業務の確認と連絡体制の徹底をしていきたい。
評価項目②	様々な部署と協力しながら学校創立100周年行事を無事に開催することができた。生徒、同窓生、保護者、教職員が心ひとつになり、本校の礎を確認できたのではないかな。運営については、今後も様々ご意見いただきながら改善していきたい。
評価項目③	定期テストについて、時間割や監督配置の采配において人員不足等一部ご意見を頂戴しているため、考慮していく。今後もトラブルのないように細心の注意を払い、円滑に試験を進行していきたい。
評価項目④	私立学校現況調査報告書の作成や中学入試・高校入試など、例年通りの仕事を円滑に進めることができた。それぞれの学校行事における各部署との連携もスムーズにこなすことができ、大きいトラブルに至らなかった。
評価項目⑤	今年度は転出生徒などの指導要録を作成する際に、担任の先生では修正できないブウ部分の間違いが何件か報告された。そのおかげで、一度全校生徒の情報を見直す機会を設けてチェックすることができた。調査書のプログラムも差しかわったが順調に運用できた。新規の成績に関する資料も順調に運用できた。
評価項目⑥	ターム留学先にニュージーランドのオークランドを加え、選択肢を増やすことができた。2026年度実施の5学年部体験研修旅行先を選定することができた。3学年部語学研修旅行については、方面・内容等の再検討準備を進めていきたい。
評価項目⑦	黙念で始まり黙念で終わる本校の学校生活において、日常生活ではなかなか設けることのできない厳粛・静寂な朝礼の時間を、自己理解の時間として大切に過ごしていた。黙念で心を落ち着け、今日の自分と向き合い集中力を高め、前向きな姿勢で授業に向かうことができていた。
評価項目⑧	創立100周年にふさわしいイベントやポップの提示、図書館内の有効活用に努め、説明会などでも好評であった。芸術鑑賞会においてはコロナ以降で、アンケートなどにおいても過去一番好評を得たので次年度以降も生徒の感性・知育教育に努めたい。

事務部

1) 結果

		評価
重点目標	少人数の職員であっても、各のキャリアと気配りとやる気により、学校行事や日常業務を円滑に執行し、生徒・教員や他部署に支障や負担を与えぬよう尽力する。	3.4
評価項目①	事務部内において、自分の所属する課を越えた業務であっても、協力しあい迅速に納められるよう助け合いの精神を各自が持つよう努める。	4
評価項目②	立場など気にせず、いつでも誰にでも相談、発案、気の付いた点等が言える環境の職場とする。	3
評価項目③	不在にする時、今どこに居て何の作業をしており、どれくらいの時間で戻れるのか、同室の職員が把握し安心できるように心掛ける。	3
評価項目④	現在ペーパーレス化ができていない振込依頼や案内プリント等について再検討をする。	3
評価項目⑤	経年劣化によるイス等設備の修繕を進めるとともに、ニーズに合った図書館活用を広くヒアリングし、生徒の利用に直結する設備環境を整えることに努める。	4
評価項目⑥	100周年を契機に、自校誌や過去資料の整理・保全管理の在り方を考える。また、その資料を活用し、生徒の自校への理解・関心が深まるように働きかける。	4
評価項目⑦	安全管理や安全教育について、「学校安全計画」や「学校危機管理対応マニュアル」「学校保健・学校安全等に関する規程」に基づいて適切に対応する。	3

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	学校行事等、前もって予定がつかめている業務については少ない職員でかなりの努力をし、何とかやりくりできたと感じている。事務職員が減ったことは色んな場で発信したので、先生方からも普段より事務に対して気を遣っていただけたようだ。
評価項目①	過去になく事務職員が激減した年度でもあるせいか、事務部の職員が全員気にかけて、説明会用の資料作り等、人手を要する時には積極的に協力を受けることができた。
評価項目②	事務部内に係る校務内容や人事的内容に留まらず、学校運営におけるアドバイスや事務に係る部署の運営ヒント等、ちょっとした事でも気が付いた時、事由に意見発信できていたが、もう少し広まると良かった。
評価項目③	同じ職員でも声をかけれる時と全くかけられない時もあり、事務部全職員が自然と毎回必ず声かけ退室できることを今後も望む。教員から特定の事務職員の所在を聞かれた時にはっきり答えられない時もあった。
評価項目④	振込依頼については、現行のままになってしまったが、次年度の授業料の案内プリントはプリントの配布と同時進行で保護者宛てにメール配信とホームページの掲載を試みた。来年度以降順次プリントでの配布を減らせるようにしていきたい。
評価項目⑤	図書館活性化のため、設備更新の意義・方針を学習進路指導部図書係の共通意見としてまとめ、次年度取り組みたい事業として提案することができた。新しい学び場を提供できるよう、その実現に期待したい。

評価項目⑥	図書館保有の過去資料を活用し学園100年を振り返る企画を行ったが、多くの生徒が関心を寄せ、自校への理解につなげることができた。記録は財産とこころえ、あらためて保全とデジタル化に努めたい。
評価項目⑦	各計画・マニュアル・規程を見直す、又は確認する余裕がなかった。 インフルエンザ等流行感染症のように、対処法が必要な場合には各規程等に基づき対応した。

管理部門

1) 結果

		評価
重点目標	関係各部署と連携を図りながら、施策の体系を計画的かつ確実に実行できるよう努める。また、引き続き生徒の安全・安心を最優先した上で、できる限り通常の教育活動を実施する。	4.2
評価項目①	学校創立100周年を期して策定した第2次中期事業計画の施策を、体系的に整備して着実に実行する。	4
評価項目②	探究型教育・グローバル教育・ICT教育等の実践を推進するため、関係各部署の活動を支援する。	3
評価項目③	できるだけ早い時期から計画的かつ適切な教員採用を進める。また、次世代リーダーの育成に努める。	5
評価項目④	適切な労務管理を行う。また、「チーム学校」の体制を整えとともに、教員が教育活動に専念できるような学校組織づくりに向けてさらに努力する。	4
評価項目⑤	教務部・入試広報部・事務室等と連携し、準備段階から入試業務を円滑に進める。また、中学入試の出願者数をさらに増やすため、学校説明会の内容やホームページ、SNS等による情報発信を工夫し、1名でも多くのリピーターやファンを育てる。	5
評価項目⑥	学校創立100周年に関わる記念事業を、企画から実行までより円滑に進めるため、実行委員会の活動を支援する。	4

2) 重点目標の総括および各評価目標についてのコメント

重点目標の総括	第2次中期事業計画の施策を整備し、都度、関係各部署と連携を図りながら、重点施策工程表、教育改革対応工程表等に沿って、工夫して各事業を実行するよう努めた。また、コロナが5類になって2年目にあたる今年度は、昼食場所も含めた教科エリア型校舎の運用や各学校行事をはじめとしたすべての教育活動を、細心の注意を払いつつ4月当初からコロナ禍以前の形に戻すことができた。
評価項目①	創立100周年以降の次の10ヶ年の中期事業計画「Crane翼プロジェクトⅡ」にある4つの施策について、将来計画委員会を中心に重要度・関心度・優先度が高いものを7つの分野、21項目に分けて精査し、検討の方向性を3段階に整理した。その結果、今年度の重点施策となった事業については、担当部署を決めて達成目標を明確にし、工程表を作成して進捗状況を管理した上で実行した。さらに、夏期校内研修会においてこの事業計画に関する研修を行い、建学の理念を具現化する本校ならではの教育である「随所に主となる学びの実現」について教職員間の共通理解を深めることができた。

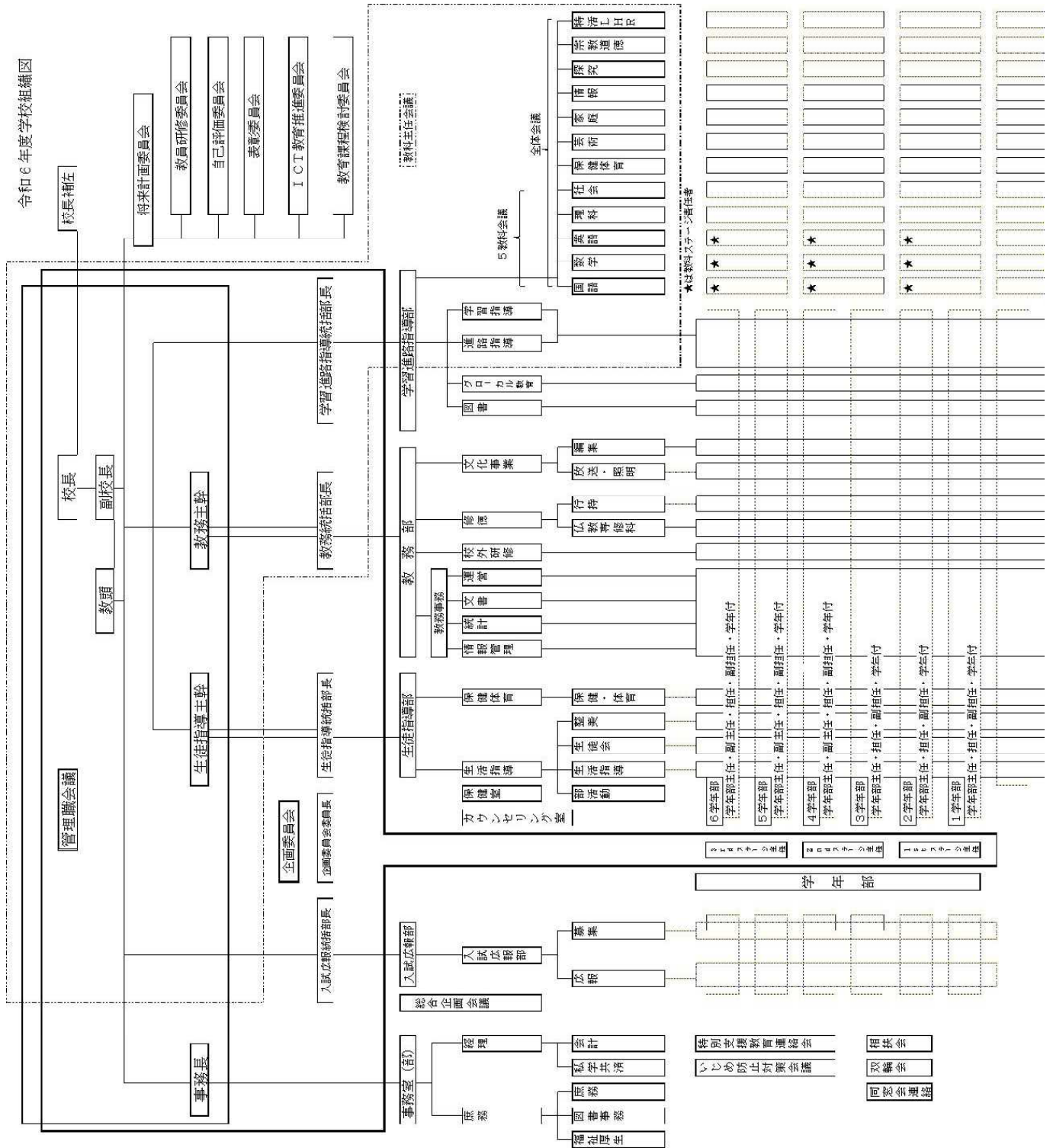
評価項目②	探究科では、今年度より授業担当者が3名増えて主要5教科の教員が揃った。定期的に集まってシラバスの共有や研究を進めてきただけでなく、教科等横断型授業についても探究科が中心となって研究し実践しているところである。グローバル教育では、新たに校務分掌として学習進路指導部の中に「グローバル教育部」を設置し、英語科以外の教員も加わってシラバス構築を進めた。特に、1stステージ生徒対象の7限グローバルスタディでは、多くの外部講師による講演会や出前授業等が開催され大変有意義な企画となった。ICT教育では、計画通り今年度は1～5学年部で1人1台タブレット端末を導入し、6学年部でも希望者は使用可とした。これに伴い引き続きWi-Fi環境を整備するなどの支援を行った。また、ICT教育推進委員会では、授業や校務での生成AIの活用方法について研究を進めている。
評価項目③	例年より1ヶ月早く9月上旬には次年度の各学年クラス数や各教科単位数の予想値を固め、教科ごとの年齢バランス、常勤・非常勤の区別等も熟慮した上で、4つの教科において新たに教員を公募し、順調に採用計画を進めることができた。近年の教員採用は教科によって大変苦戦しているが、今年度は動き出すのが早かったため12月までにはほぼ決定し、3学期には採用前研修も実施した。また、次世代リーダーの育成については、近い将来の世代交代を意識しながら、今年度も校務分掌や学年・学級等の配役、指定外部研修への派遣等を実施することができた。なお、教員の行動指針の作成についても、将来計画委員会を中心に検討を始めている。
評価項目④	労務管理に関して、まずは今年度より労働カレンダーに勤務を要しない研修日を原則月1回入れるよう試行したり、部長職以上の教員の校務分掌数を減じるよう調整したところ、肯定的な意見が多く心身の健康面でも良い影響が出ているようであった。また、時間外勤務や休日振替の申請・許可、出勤簿の管理等についても、適切な対応、正確な処理を心掛けて実行した。「チーム学校」の体制については、教務事務支援員を新たに採用したり、部活動外部コーチを増員して強化を図った。また、教員が主体的にかつ安心して教育活動に専念できるようにするため、それぞれが書き込んだシートに基づき、年度当初から1人30分以上の時間をかけて校長との面談を実施した。
評価項目⑤	より効果的な生徒募集活動上の情報発信をするため、まずは年度当初に学校ホームページを刷新し、年度中頃でタウンニュースによる本校の100周年記念号を発行した。また、Instagram(インスタグラム)やLINE(ライン)の更新頻度を上げ、導入以来2年目となるWeb入学手続システムや3年目となるWeb出願システムについても関係各部署と連携の上、さらに利用しやすくなるよう工夫や改良を行った。特に中学入試においては、夏休み体験イベントの企画数を増やしたり、学校説明会のテーマを毎回変えて在校生や卒業生登壇の機会を増やすなどの取り組みを実施した。これにより中学校の入試説明会参加者数は3年続けて1000名を超えとなり、目標としていた入試の出願者数増に結びつけることができた。
評価項目⑥	企画・管理、式典・行事、記録・編纂等の6つの部会から成る「創立100周年記念事業実行委員会」の各部会責任者や総括運営部に管理職も配置し、校長と密に連絡を取り合いながら様々な事業を実施した。中でも学校が創立された11月に100周年の記念式典と記念講演会を開催できたことは何よりであった。さらに同月には同窓会主催のホームカミングデイも行われ、多くの卒業生や旧教職員の方々にご参加いただいた。そのほか、生徒対象の平和学習を兼ねた講演会や記念光華祭・記念芸術鑑賞会等の実施、学校ホームページ上の記念特設ページ開設とデジタルフォトブック掲載等の事業についても立案から実行まで年度内に進めることができた。また、当初は予定になかった全校生徒参加型のテレビのバラエティ番組出演は、サプライズ企画となり記憶に残る大盛況な一日となった。一方、学園全体としての100周年記念事業に関しては、法人本部においてまだ具体的な企画立案に至っておらず残念であった。

(6) 資料編

学校組織図	2 5
職員名表	2 6
生徒在籍数表	2 7
部活動加入者人数	2 8
授業・部活動・教科教室型校舎・進路に関する生徒のアンケート結果	2 9
授業参観に関する保護者のアンケート結果	3 2
卒業生の主な合格先	3 4

学校組織図

令和6年度学校組織図



職員名表

職員名表

令和6年度

令和6年5月10日～

校長補佐 森川		校長 岸本		副校長 今井		教頭 鈴木		校長補佐 森川		校長 岸本		副校長 今井		教頭 鈴木	
3名		3名		3名		3名		3名		3名		3名		3名	

★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師		★学年部主任 △学年部副主任 ※(学年年) ※常勤講師	
3名		3名		3名		3名		3名		3名		3名		3名	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 本田		主幹 田中		主幹 ※佐東	
8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名		8名	
半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外		半勤・半研日 学年外	

主幹 北島		主幹 山崎ハ		主幹 山崎ノ		主幹 佐々木		主幹 野田		主幹 	
----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	----------	--	--------	--

2024年度 生徒在籍数表
4月1日 現在

○学年部主任
△学年部副主任

組	中1 (1学年部)				中2 (2学年部)				中3 (3学年部)			
	担 任	在籍数		計	担 任	在籍数		計	担 任	在籍数		計
		男	女			男	女			男	女	
英	中田マ	20	13	33	阿部	20	14	34	保田	17	10	27
孝	福田	20	13	33	山田	20	14	34	大森	15	11	26
仁	立田	18	7	25	野間	21	12	33	忠末	22	12	34
敬	司削	18	7	25	○大石ト	21	12	33	渡辺コ	22	12	34
貞	○鈴木ケ	18	7	25								
計	5	94	47	141	4	82	52	134	4	76	45	121

英・孝組は進学クラス
仁・敬・貞組は難関進学クラス

英・孝組は進学クラス
孝・仁組は難関進学クラス

○加藤チ(3学年部主任)

鶴見大学附属中学校・高等学校
教務部統計係

組	高1 (4学年部)					高2 (5学年部)					高3 (6学年部)				
	コース	担任	在籍数		計	コース	担任	在籍数		計	コース	担任	在籍数		計
			男	女				男	女				男	女	
英	総合進学	若月	16	12	28	総合進学	河野	17	15	32	総合進学	○梅沢	24	9	33
孝		井上	18	17	35		飯田	16	17	33		宮川	21	10	31
仁		桂林	18	17	35		上野七	16	16	32		鶴田	21	11	32
敬		巻島	18	18	36		皆川	18	10	28		小泉	21	11	32
貞	特進	富吉	17	6	23	特進	森口	19	9	28	特進	△矢野	21	10	31
正		大河内	16	6	22		中田イ	21	12	33		伊藤	20	11	31
恭		△遠山	18	13	31		△芝田	22	11	33		柳原	21	10	31
愛						竹間	22	11	33						
	計	7	121	89	210	計	8	151	101	252	計	7	149	72	221

○松川(4学年部主任)

○村上(5学年部主任)

高1 (4学年部)					高2 (5学年部)					高3 (6学年部)				
コース	クラス数	在籍数		コース	クラス数	在籍数		コース	クラス数	在籍数				
		男	女			男	女			男	女			
総合進学	4	70	64	総合進学	4	67	58	総合進学	4	87	41			
特進	3	51	25	特進	4	84	43	特進	3	62	31			
計	7	121	89	計	8	151	101	計	7	149	72			

学校全体				
	クラス数	在籍数		
		男	女	計
中学校	13	252	144	396
高等学校	22	421	262	683
合計	35	673	406	1079

()内、休学者数(内数)

高校全体				
コース	クラス数	在籍数		計
		男	女	
総合進学	12	224	163	387
特進	10	197	99	296
計	22	421	262	683

■ 令和 6 年度 部活動加入状況 ■

文化部〈主任：永澤〉

部活動名	顧問	中学	高校	合計
数学部	矢野 野間	4	15	19
洋裁部	大森	9	5	14
JRC国際ボランティア部	井上 竹間	2	5	7
パソコン部	永澤	9	5	14
英語部	伊藤	0	4	4
自然科学部	宮川 長野	24	12	36
写真部	遠山	3	20	23
茶道部	巻島	18	23	41
書道部	中田マ 中川 三浦	6	1	7
調理部	上野マ 児玉	15	15	30
ダンス部	立田 熊谷	10	16	26
アンサンブルクレイン部	山口エ (野田) 和知	4	6	10
吹奏楽部	梅沢 野田 若月 田中リ 河合	18	35	53
美術部	村上 飯村 小林	7	16	23
放送部	忠末	3	8	11
漫画研究部	松川	8	9	17
囲碁・将棋部	浜田	4	6	10
社会科部	川野	11	7	18
鉄道研究部	福嶋 (北島)	8	4	12

体育部〈主任：加藤チ〉

部活動名	顧問	中学		高校		合計
		男子	女子	男子	女子	
テニス部	山崎ノ 柳原 小泉 桂林 山口タ 大谷 鈴木ツ	28	6	17	4	55
バレーボール部	保田 富吉 服部 内田 (山崎ハ) 宅島	10	3	12	10	35
バドミントン部	弓削 福田 阿部 山家 石田	15	11	32	17	75
女子バスケットボール部	大石ノ 中田イ 加藤サ 渡邊ナ	0	9	0	14	23
男子バスケットボール部	加藤チ 大石ト 恒川 加藤イ 守田 山本	28	0	22	2	52
ソフトボール部	渡辺コ 鈴木タ 安藤	0	6	0	2	8
バトン部	飯田 阿山	0	13	1	18	32
陸上競技部	芝田 皆川 上野ヒ 塩尻 長谷川	7	1	27	12	47
高校硬式野球部	河野 森コ 西村 加藤マ	0	0	21	1	22
高校サッカー部	鈴木ケ 鶴田 佐々木 辻川 有馬 大山	0	0	20	2	22
中学サッカー部	山田 大河内	28	0	0	0	28

■斜字体：コーチ・外部指導者（非常勤講師を含む）

■（ ）内：兼務、補佐等

■今年度活動している団体です。数字は5月7日現在の在籍数です。なお、複数の部に在籍（「兼部」）している生徒については、第一登録の部活動（「第一部活」）のみ計上しています。

令和6年度 授業・部活等に関する生徒のアンケート結果

質問事項

設問1（国語・社会・数学・理科・英語について）

- ア) この教科の授業について、満足度はどうですか。
- ・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1
- イ) 4月当初よりもこの教科の学力は上がったと思いますか。
- ・向上…5 少し向上…4 変わらない…3 少し低下…2 低下…1
- ウ) この教科の授業に臨むにあたり、予習や復習の準備はどうですか。
- ・充分…5 大体充分…4 普通…3 あまり充分でない…2 不十分…1

設問2（教科；保健体育、芸術、家庭、探求）

- ア) この教科の授業について、満足度はどうですか。
- ・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1
- イ) この教科を通し、社会全体に対して、その方面への興味は向上しましたか。
- ・向上…5 少し向上…4 変わらない…3 少し低下…2 低下…1

設問3（部・クラブ）

- ア) 所属している部活動は次のどれですか。
- ・体育部…3 文化部…2 兼部…1 現在所属していない…0
- イ) 部活動の活動日は年間を通して、週当たり何日ですか。
- ・5日～7日…3 4日～3日…2 2日～1日…1 現在所属していない…0
- ウ) このクラブに所属していて満足ですか。
- ・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1 現在所属していない…0
- エ) 来年もこのクラブを継続するつもりですか。
- ・継続する…5 継続するつもり…4 わからない…3 継続しないつもり…2 継続しない…1 現在所属していない…0

設問4（教科教室型校舎）

- 本校の教科エリア型・ホームベース型校舎（教科教室型校舎）についてどう思いますか。
- ・よい…5 大体よい…4 どちらともいえない…3 あまりよくない…2 よくない…1

設問5（進路関係；高3のみ回答）

- ア) 卒業後の進路、または、希望する進路はどれですか。
- ・進学…1 就職…0
- イ) 進学する学校、または、したい学校はどれですか。（就職は0を記載）
- ・4(6)年制大学…4 短期大学…3 専門学校…2 文部科学省管轄外の学校…1 就職…0
- ウ) 進学の形態は次のうちのどれですか。（就職は0を記載）
- ・一般選抜…4 学校推薦型選抜（指定校）…3 学校推薦型選抜（公募）…2 総合型選抜…1 就職…0
- エ) 進路結果、または、今それを目指している進路目標に満足していますか。
- ・満足…5 少し満足…4 普通…3 少し不満…2 不満…1
- オ) 進路結果に対しての準備状況はどうでしたか。または、現在目指している進路目標への準備はどうですか。
- ・充分…5 大体充分…4 普通…3 あまり充分でない…2 不十分…1

結果（％表示） ＊小数点２位以下を四捨五入したため、100パーセントにならない項目があります。

設問１（国・社・数・理・英）

【中学１年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	32.6%	31.8%	4.0%	55.0%	28.2%	7.1%	40.7%	30.0%	11.0%	24.1%	24.4%	8.5%	35.9%	25.6%	9.8%
4	27.2%	41.4%	21.1%	25.2%	38.2%	27.7%	16.3%	30.8%	17.6%	19.6%	37.6%	17.9%	22.1%	28.7%	19.6%
3	31.7%	19.1%	46.2%	17.1%	13.6%	40.2%	24.4%	13.8%	36.0%	35.3%	21.7%	42.4%	29.4%	31.4%	43.4%
2	5.8%	6.8%	17.5%	1.8%	17.3%	14.3%	14.1%	14.6%	23.5%	12.1%	14.5%	16.5%	10.0%	10.3%	11.5%
1	2.7%	0.9%	11.2%	0.9%	2.7%	10.7%	4.4%	10.8%	11.8%	8.9%	1.8%	14.7%	2.6%	4.0%	15.7%

【中学２年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	31.5%	19.0%	6.5%	36.7%	22.0%	12.1%	39.2%	24.2%	10.4%	28.0%	26.8%	12.0%	42.4%	14.7%	9.1%
4	26.0%	41.0%	24.5%	28.6%	23.0%	23.2%	27.0%	32.0%	26.2%	19.0%	30.8%	31.0%	21.9%	25.3%	22.4%
3	38.0%	32.0%	47.5%	26.5%	36.0%	44.4%	31.5%	26.9%	40.7%	39.0%	32.3%	39.5%	29.0%	47.5%	47.5%
2	4.5%	6.5%	8.0%	6.1%	16.0%	11.1%	1.8%	12.8%	13.1%	8.0%	7.1%	9.0%	5.4%	7.8%	9.1%
1	0.0%	1.5%	13.5%	2.0%	3.0%	9.1%	0.5%	4.1%	9.5%	6.0%	3.0%	8.5%	1.3%	4.6%	11.9%

【中学３年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	19.2%	17.5%	6.5%	25.0%	21.4%	7.0%	26.6%	13.5%	9.0%	30.0%	24.0%	7.0%	15.5%	24.2%	10.5%
4	18.2%	28.0%	12.5%	19.0%	24.5%	13.0%	25.6%	25.0%	17.5%	25.0%	30.0%	17.5%	35.0%	22.7%	17.5%
3	49.0%	43.0%	47.0%	30.0%	39.8%	48.0%	30.7%	37.0%	41.5%	38.0%	31.0%	45.0%	14.5%	36.9%	43.0%
2	13.1%	10.0%	9.5%	15.0%	11.2%	6.0%	10.1%	17.5%	6.5%	6.0%	12.0%	3.5%	13.5%	8.1%	4.0%
1	0.5%	1.5%	24.5%	11.0%	3.1%	26.0%	7.0%	7.0%	25.5%	1.0%	3.0%	27.0%	100.0%	8.1%	25.0%

【高校１年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	25.5%	16.2%	3.5%	28.0%	18.9%	3.5%	24.5%	25.3%	10.5%	34.2%	23.2%	6.1%	36.6%	18.5%	10.3%
4	26.1%	29.6%	11.8%	20.2%	29.9%	10.0%	22.6%	33.2%	15.9%	26.1%	32.3%	11.1%	25.3%	34.7%	20.8%
3	38.4%	43.1%	51.3%	40.9%	42.3%	55.8%	36.4%	31.3%	47.0%	33.9%	31.9%	52.8%	30.4%	37.1%	46.2%
2	7.8%	8.6%	11.8%	7.8%	6.7%	10.6%	10.8%	7.8%	10.5%	3.6%	9.5%	10.4%	4.8%	6.5%	8.6%
1	2.2%	2.4%	21.5%	3.2%	2.2%	20.1%	5.7%	2.4%	15.9%	2.2%	3.1%	19.6%	3.0%	3.2%	14.1%

【高校２年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	39.8%	22.9%	4.9%	43.6%	25.2%	4.3%	31.1%	20.7%	9.9%	31.2%	17.2%	11.5%	34.8%	19.5%	5.7%
4	24.3%	26.4%	10.4%	19.1%	20.3%	12.0%	23.2%	27.8%	18.0%	21.6%	28.1%	21.3%	29.0%	35.0%	13.1%
3	33.2%	50.1%	42.4%	32.8%	53.5%	41.7%	40.7%	47.9%	39.3%	34.2%	45.2%	33.6%	30.1%	37.0%	44.5%
2	1.6%	0.5%	7.8%	3.4%	0.5%	7.7%	3.4%	0.6%	11.4%	8.1%	5.9%	7.4%	4.4%	5.8%	10.5%
1	1.1%	0.0%	34.6%	1.0%	0.5%	34.2%	1.7%	3.0%	21.5%	4.9%	3.6%	26.2%	1.6%	2.7%	26.2%

【高校３年】

	国語			社会			数学			理科			英語		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
5	43.1%	32.7%	18.3%	56.8%	45.0%	27.9%	40.2%	35.9%	20.6%	55.2%	32.9%	20.3%	33.9%	26.1%	17.0%
4	22.3%	29.7%	20.9%	22.5%	26.1%	27.9%	28.1%	32.4%	21.7%	28.0%	37.1%	29.4%	29.8%	33.5%	19.7%
3	27.1%	34.2%	42.9%	18.0%	27.0%	32.4%	24.9%	27.4%	48.0%	16.1%	28.7%	42.7%	28.4%	36.2%	51.5%
2	6.3%	1.9%	10.4%	1.8%	0.9%	9.0%	2.1%	1.1%	5.7%	0.7%	0.7%	5.6%	4.1%	1.6%	5.8%
1	1.1%	1.5%	7.5%	0.9%	0.9%	2.7%	4.6%	3.2%	3.9%	0.0%	0.7%	2.1%	3.9%	2.6%	6.0%

設問2（保体・芸術・家庭・探求）

【中学1年】

	保体		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	47.1%	22.3%	47.3%	27.8%	40.2%	25.2%
4	19.8%	30.0%	24.1%	30.9%	17.9%	29.7%
3	30.4%	45.9%	26.8%	39.5%	39.3%	41.4%
2	2.2%	0.9%	1.8%	1.3%	2.7%	3.6%
1	0.4%	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%

【中学2年】

	保体		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	51.0%	29.7%	32.3%	21.7%	31.0%	26.3%
4	23.8%	25.7%	23.0%	26.1%	26.0%	26.3%
3	21.3%	40.1%	35.7%	46.8%	38.0%	41.4%
2	3.5%	3.5%	4.3%	3.0%	4.0%	4.0%
1	0.5%	1.0%	4.7%	2.3%	1.0%	2.0%

【中学3年】

	保体		芸術		技術家庭	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	20.2%	18.4%	26.0%	20.1%	15.2%	16.2%
4	18.7%	13.0%	27.0%	21.1%	13.1%	12.1%
3	46.3%	59.9%	41.5%	51.8%	54.5%	63.6%
2	7.9%	4.3%	3.5%	5.0%	11.1%	5.1%
1	6.9%	4.3%	2.0%	2.0%	6.1%	3.0%

【高校1年】

	保体		芸術		探究基礎	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	39.8%	22.9%	43.6%	25.2%	31.1%	20.7%
4	24.3%	26.4%	19.1%	20.3%	23.2%	27.8%
3	33.2%	50.1%	32.8%	53.5%	40.7%	47.9%
2	1.6%	0.5%	3.4%	0.5%	3.4%	0.6%
1	1.1%	0.0%	1.0%	0.5%	1.7%	3.0%

【高校2年】

	保体		家庭		情報		探究	
	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ
5	35.8%	18.3%	15.2%	12.9%	20.4%	18.6%	24.4%	17.6%
4	25.7%	19.9%	16.2%	20.5%	16.6%	19.0%	22.5%	16.2%
3	29.5%	56.3%	41.4%	54.3%	36.0%	49.0%	37.8%	57.6%
2	6.1%	2.3%	13.3%	2.9%	14.2%	6.2%	7.2%	2.9%
1	2.8%	3.2%	13.8%	9.5%	12.8%	7.1%	8.1%	5.7%

【高校3年】

	保体	
	ア	イ
5	57.7%	35.7%
4	26.5%	20.9%
3	14.3%	42.3%
2	1.0%	0.0%
1	0.5%	1.0%

設問3（部活動）＊網掛け部分は回答にはない項目のため、数値がある場合は誤回答となります。

【中学1年】

	ア	イ	ウ	エ
5			57.3%	45.9%
4			13.6%	22.9%
3	35.4%	28.8%	11.8%	15.6%
2	52.2%	42.3%	6.4%	0.0%
1	0.9%	18.9%	0.9%	5.5%
0	11.5%	9.9%	10.0%	10.1%

【中学2年】

	ア	イ	ウ	エ
5			49.5%	50.0%
4			13.1%	23.0%
3	46.0%	38.0%	16.2%	12.0%
2	40.0%	30.0%	4.0%	1.0%
1	1.0%	20.0%	5.1%	2.0%
0	13.0%	12.0%	12.1%	12.0%

【中学3年】

	ア	イ	ウ	エ
5			28.0%	31.3%
4			12.0%	20.2%
3	40.0%	26.0%	29.0%	18.2%
2	42.0%	30.0%	12.0%	10.1%
1	3.0%	28.0%	5.0%	7.1%
0	15.0%	16.0%	14.0%	13.1%

【高校1年】

	ア	イ	ウ	エ
5			41.1%	40.5%
4			19.5%	28.6%
3	41.6%	36.2%	14.1%	10.8%
2	40.5%	30.8%	5.9%	2.7%
1	1.1%	16.2%	2.7%	0.5%
0	16.8%	16.8%	16.8%	16.8%

【高校2年】

	ア	イ	ウ	エ
5			33.5%	25.6%
4			10.2%	12.6%
3	30.8%	26.1%	13.1%	10.1%
2	29.4%	20.3%	2.9%	3.9%
1	0.9%	13.5%	2.4%	10.6%
0	38.9%	40.1%	37.9%	37.2%

【高校3年】

	ア	イ	ウ	エ
5			44.1%	6.0%
4			6.5%	3.0%
3	30.3%	25.3%	7.0%	9.5%
2	29.8%	13.4%	0.5%	3.0%
1	0.0%	18.8%	1.1%	23.8%
0	39.4%	41.4%	40.9%	54.8%

設問4（教科教室型校舎）

【中学1年】

5	39.3%
4	27.7%
3	23.2%
2	5.4%
1	4.5%

【中学2年】

5	36.4%
4	32.3%
3	24.2%
2	5.1%
1	2.0%

【中学3年】

5	13.0%
4	16.0%
3	31.0%
2	17.0%
1	23.0%

【高校1年】

5	15.6%
4	19.4%
3	28.0%
2	15.1%
1	22.0%

【高校2年】

5	7.6%
4	15.2%
3	22.4%
2	16.2%
1	38.6%

【高校3年】

5	10.8%
4	21.1%
3	28.4%
2	19.1%
1	20.6%

設問5（高3進路関係）＊網掛け部分は回答にはない項目のため、数値がある場合は誤回答となります。

	ア	イ	ウ	エ	オ
5				50.7%	18.4%
4		88.4%	63.1%	22.2%	20.3%
3		3.9%	20.9%	23.2%	40.1%
2		5.8%	2.9%	2.4%	15.5%
1	99.5%	1.4%	12.6%	1.4%	5.8%
0	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%

授業参観（6月22日）アンケート結果

1. 参観保護者数

学年	1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)	その他 (学年不明・複数学年)
在籍数	141人	134人	121人	210人	251人	220人	0人
参加者人数	133人	101人	87人	140人	131人	80人	8人
アンケート回答者	68人	63人	43人	88人	73人	41人	8人
回収率	51.1%	62.4%	49.4%	62.9%	55.7%	51.3%	100.0%

2. アンケート質問事項

- ① 授業の雰囲気はいかがでしたか。
- ② 生徒の授業での集中度はいかがでしたか。
- ③ 休み時間などの授業外の生徒の生活はいかがでしたか。
- ④ お子さんのご自宅での予習・復習のようすはいかがでしたか。
- ⑤ ご家庭での学習活動と本校の授業との関係はいかがですか。
- ⑥ 授業参観全体の様子はいかがでしたか。

3. アンケート結果 5: 大変良い 4: 少し良い 3: 普通 2: 少し悪い 1: 大変悪い

	1学年部 (中1学年)					2学年部 (中2学年)					3学年部 (中3学年)				
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
①	44人	17人	7人	0人	0人	20人	22人	20人	1人	0人	16人	16人	10人	0人	1人
②	23人	22人	20人	3人	0人	14人	21人	23人	4人	1人	11人	13人	16人	2人	0人
③	17人	22人	24人	0人	0人	9人	19人	33人	1人	0人	7人	10人	22人	0人	0人
④	4人	14人	25人	19人	5人	6人	11人	17人	21人	7人	2人	8人	16人	12人	4人
⑤	11人	24人	29人	1人	0人	6人	22人	23人	6人	3人	5人	10人	20人	6人	0人
⑥	36人	26人	6人	0人	0人	13人	29人	20人	1人	0人	13人	16人	13人	0人	1人
平均															
①	4.5点					4.0点					4.0点				
②	4.0点					3.7点					3.7点				
③	3.9点					3.6点					3.6点				
④	2.9点					2.8点					2.8点				
⑤	3.7点					3.4点					3.4点				
⑥	4.4点					3.9点					3.9点				

	4学年部 (高1学年)					5学年部 (高2学年)					6学年部 (高3学年)				
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
①	50人	20人	17人	1人	0人	25人	24人	19人	4人	0人	21人	9人	11人	0人	0人
②	39人	26人	17人	6人	0人	17人	26人	23人	4人	2人	17人	12人	11人	1人	0人
③	27人	17人	39人	2人	0人	12人	17人	41人	0人	0人	14人	8人	17人	1人	0人
④	9人	17人	39人	18人	5人	2人	8人	35人	21人	7人	9人	10人	15人	6人	1人
⑤	14人	27人	40人	5人	1人	5人	18人	40人	7人	2人	8人	16人	13人	3人	1人
⑥	39人	33人	16人	0人	0人	20人	26人	25人	1人	0人	15人	15人	10人	1人	0人
平均															
①	4.4点					4.0点					4.0点				
②	4.1点					3.7点					3.7点				
③	3.8点					3.6点					3.6点				
④	3.1点					2.7点					2.7点				
⑤	3.6点					3.2点					3.2点				
⑥	4.3点					3.9点					3.9点				

4. 前回アンケート結果（2023年10月）

その他 (学年不明・複数学年)					平均				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
①	4人	2人	1人	0人	4.4点				
②	3人	1人	2人	0人	4.2点				
③	3人	1人	2人	0人	4.2点				
④	0人	1人	3人	1人	2.7点				
⑤	1人	0人	4人	1人	3.2点				
⑥	3人	1人	2人	0人	4.2点				

	その他(学年不明・複数学年)										平均	
	5	4	3	2	1	未回答						
①	4人	2人	1人	0人	0人	1人						4.4点
②	3人	1人	2人	0人	0人	2人						4.2点
③	3人	1人	2人	0人	0人	2人						4.2点
④	0人	1人	3人	1人	1人	2人						2.7点
⑤	1人	0人	4人	1人	0人	2人						3.2点
⑥	3人	1人	2人	0人	0人	2人						4.2点

5. 前年度アンケート結果（2023年6月）

1学年部 (中1学年)					2学年部 (中2学年)					3学年部 (中3学年)					4学年部 (高1学年)					5学年部 (高2学年)				
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
①	4人	2人	1人	0人	4.2点					4.2点					4.2点					4.2点				
②	3人	1人	2人	0人	3.9点					3.9点					3.9点					3.9点				
③	3人	1人	2人	0人	3.8点					3.8点					3.8点					3.8点				
④	0人	1人	3人	1人	3.1点					3.1点					3.1点					3.1点				
⑤	1人	0人	4人	1人	3.6点					3.6点					3.6点					3.6点				
⑥	3人	1人	2人	0人	4.0点					4.0点					4.0点					4.0点				

授業参観（10月30日）アンケート結果

1. 参観保護者数

学年	1学年部 (中1学年)	2学年部 (中2学年)	3学年部 (中3学年)	4学年部 (高1学年)	5学年部 (高2学年)	6学年部 (高3学年)
在籍数	140人	134人	121人	207人	249人	219人
参加者人数	86人	60人	43人	51人	44人	32人
アンケート回答者	58人	44人	26人	33人	30人	13人
回収率	67.4%	73.3%	60.5%	64.7%	68.2%	40.6%

その他	学年不明・複数学年
0人	
6人	
6人	
100.0%	

2. アンケート質問事項

- 授業の雰囲気はいかがでしたか。
- 生徒の授業での集中度はいかがでしたか。
- 休み時間などの授業外の生徒の生活はいかがでしたか。
- お子さんのご自宅での予習・復習のようすはいかがでしたか。
- ご家庭での学習活動と本校の授業との関係はいかがでしたか。
- 授業参観全体の様子はいかがでしたか。

3. アンケート結果 5: 大変良い 4: 少し良い 3: 普通 2: 少し悪い 1: 大変悪い

1 学年部 (中1 学年)							平均
	5	4	3	2	1	未回答	
①	28人	18人	9人	2人	1人	0人	4.2点
②	11人	21人	20人	5人	1人	0人	3.6点
③	15人	15人	26人	0人	1人	1人	3.8点
④	7人	8人	14人	24人	5人	0人	2.8点
⑤	6人	19人	20人	10人	2人	1人	3.3点
⑥	20人	25人	9人	3人	1人	0人	4.0点

	2 学年部 (中 2 学年)					平均	
	5	4	3	2	1		未回答
①	18人	7人	11人	8人	0人	0人	3.8点
②	13人	7人	10人	12人	2人	0人	3.4点
③	12人	3人	21人	2人	4人	2人	3.4点
④	7人	11人	13人	6人	7人	0人	3.1点
⑤	5人	17人	14人	6人	2人	0人	3.4点
⑥	14人	11人	11人	5人	3人	0人	3.6点

3 学年部 (中3 学年)						
	5	4	3	2	1	未回答
①	7人	8人	10人	0人	1人	0人
②	5人	8人	11人	1人	1人	0人
③	5人	6人	13人	0人	0人	2人
④	4人	4人	4人	11人	3人	0人
⑤	5人	5人	13人	2人	1人	0人
⑥	7人	10人	9人	0人	0人	0人

4学年部 (高1学年)							平均
	5	4	3	2	1	未回答	
①	15人	6人	10人	1人	0人	1人	4.1点
②	9人	9人	9人	5人	0人	1人	3.7点
③	11人	6人	13人	0人	0人	3人	3.9点
④	1人	6人	13人	8人	3人	2人	2.8点
⑤	6人	9人	14人	2人	0人	2人	3.6点
⑥	15人	7人	7人	2人	0人	2人	4.1点

	5学年部 (高2学年)					平均	
	5	4	3	2	1		未回答
	8人	11人	10人	0人	0人	1人	3.9点
	4人	9人	15人	1人	0人	1人	3.6点
	6人	8人	15人	0人	0人	1人	3.7点
	1人	5人	11人	7人	5人	1人	2.7点
	4人	7人	14人	3人	0人	2人	3.4点
	4人	13人	11人	1人	0人	1人	3.7点

6学年部 (高3学年)						
	5	4	3	2	1	未回答
①	5人	5人	3人	0人	0人	0人
②	5人	4人	4人	0人	0人	0人
③	2人	4人	6人	0人	0人	1人
④	2人	3人	6人	1人	1人	0人
⑤	0人	5人	7人	1人	0人	0人
⑥	5人	6人	2人	0人	0人	0人

その他 (学年不明・複数学年)

						未回答	平均
	5	4	3	2	1		
①	0人	3人	1人	1人	0人	1人	3.4点
②	0人	2人	3人	0人	0人	1人	3.4点
③	0人	2人	3人	0人	0人	1人	3.4点
④	0人	2人	2人	1人	0人	1人	3.2点
⑤	0人	3人	2人	0人	0人	1人	3.6点
⑥	1人	1人	2人	1人	0人	1人	3.4点

4. 前回アンケート結果 (2024年6月)

	1学年部 (中1学年)					平均
	5	4	3	2	1	
①	4.5点	4.0点	4.1点	4.4点	4.0点	4.2点
②	4.0点	3.7点	3.8点	4.1点	3.7点	4.1点
③	3.9点	3.6点	3.6点	3.8点	3.6点	3.9点
④	2.9点	2.8点	2.8点	3.1点	2.7点	3.5点
⑤	3.7点	3.4点	3.3点	3.6点	3.2点	3.7点
⑥	4.4点	3.9点	4.0点	4.3点	3.9点	4.1点

	1学年部 (中1学年)					平均
	5	4	3	2	1	
①	4.0点	4.1点	4.1点	3.7点	4.0点	4.0点
②	3.6点	3.5点	4.0点	3.3点	3.7点	3.7点
③	3.8点	3.8点	3.6点	3.7点	3.7点	3.7点
④	3.1点	2.9点	3.2点	2.8点	2.8点	2.8点
⑤	3.6点	3.3点	3.7点	3.3点	3.4点	3.4点
⑥	4.0点	4.1点	4.1点	3.6点	4.0点	4.0点

5. 前年度アンケート結果 (2023年1)

主な合格先の推移（過去５年間）

大学名\入試年度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	現役生		過年度生		不明
							内進生	高入生	内進生	高入生	
国公立	北海道大学					1		1			
	茨城大学	1									
	群馬大学					1		1			
	千葉大学			1							
	筑波大学			1							
	電気通信大学					1		1			
	東京海洋大学	1				2		1		1	
	東京外国語大学				2						
	東京学芸大学				1	1	1				
	東京農工大学				1						
	横浜国立大学	3									
	横浜国立大学			1	1	1	1				
	神奈川県立保健福祉大学		2	1							
	川崎市立看護大学					1	1				
	山梨大学				1						
	琉球大学				1						
	静岡県立大学	1									
早慶上理	早稲田大学	2	2	3	11						
	慶應義塾大学	2		3	1	2		2			
	上智大学	2		1	5	2	1	1			
	東京理科大学	6	4	2	2	2	2				
G・MARCH	学習院大学	1	5	2	3						
	明治大学	6	7	17	13	6	2	4			
	青山学院大学	4	9	5	11	3	2	1			
	立教大学	7	3	2	11						
	中央大学	7	10	9	11	6	3	3			
	法政大学	12	8	14	17	13	7	5	1		
成蹊・成城・明学 獨協・國學院・武蔵	成蹊大学		4	3	1	3		2		1	
	成城大学	6	2	2		2	1			1	
	明治学院大学	2	2	12	12	7	4	3			
	獨協大学	1		1	2	1		1			
	國學院大学	7	9	4	7	8	7	1			
	武蔵大学		1	4	4	1		1			
日東駒専	日本大学	19	19	22	20	35	11	24			
	東洋大学	9	12	11	21	20	6	14			
	駒澤大学	10	7	12	6	12	7	4		1	
	専修大学	12	6	11	17	8	2	5		1	
大東(東)亜帝国	大東文化大学	2	1		6	4	2	2			
	東海大学	21	17	11	33	11	3	8			
	亜細亜大学	5	3		1	3	2	1			
	帝京大学	12	16	5	6	4	2	2			
	国士舘大学	5	4	6	3	3		2		1	

主な合格先の推移（過去5年間）

大学名\入試年度		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	現役生		過年度生		不明
							内進生	高入生	内進生	高入生	
東京・神奈川地区	桜美林大学	8	4	4	2	4	2	2			
	神奈川大学	22	24	27	45	61	18	31			12
	関東学院大学	15	16	36	28	15	1	14			
	北里大学	7	5	4	2	3		3			
	昭和大学	3		2	2	4	2	2			
	玉川大学	8	6	9	4	9		9			
女子大	跡見学園女子大学		1								
	大妻女子大学	1	1		3	2	1	1			
	学習院女子大学			1							
	鎌倉女子大学	6	2	2	4						
	共立女子大学		1								
	駒沢女子大学	1	2								
	相模女子大学	3	2	1	1	2	1	1			
	実践女子大学	2	1	1	2	2		2			
	昭和女子大学	3	2	3	2	3	2	1			
	白百合女子大学				1						
	聖心女子大学		1	1							
	清泉女子大学	2		1	5						
	東京家政大学	2									
	東京家政学院大学	1		1		1	1				
	東京女子大学										
	東洋英和女学院大学	2	4		2						
	日本女子大学		2	1							
	フェリス学院大学	3	4	3	1	1		1			
理系大学	麻布大学	4	4	6	3	1	1				
	神奈川工科大学	5	13	6	10						
	工学院大学	1	1		7	2	1	1			
	芝浦工業大学	1	3	4	3	3		3			
	湘南工科大学	4	3	6	10	1		1			
	帝京科学大学		3	1	2	1	1				
	東京工科大学	12	9	5	8	4	2	2			
	東京電機大学	3	2	5	4	3		3			
	東京都市大学	4	6	7	9	15	10	5			
	東京農業大学	11	3		7	2	1	1			
	日本獣医生命科学大学	2	4		2	1	1				
鶴見大学	歯学部				3						
	文学部	3	6	3	6	2	1	1			
卒業生数		202	174	191	203	219	83	136	***	***	***

※内進生を含む。

※「不明」…大学通信社調べ。一般入試合格者数（見込合計）